

訂正のご案内

この度は、LEC公認会計士講座をご利用頂き、誠に有難うございます。

2022年 論文公開模試 経営学 に、訂正事項がございましたので、お知らせ致します。

教材作成上の訂正事項が生じたことを、心よりお詫び申し上げます。今後改善に努めてまいりますので、受講生の皆様におかれましては、ご了承の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

論文式公開模試 経営学 解答解説 (EU22392)

該当箇所	誤	正
P3/20 第2問 問題1 問1-2 解答	22,125 円	20,125 円
P12/20 第2問 問題1 問1-2 解説	<p>1 特別配当支払い後の 2022 年度期末の株主価値の算定</p> $264 \div (11\% - 1\%)$ $= 2,640 \text{ (2022 年度期末の企業価値)}$ $2,640 \times 2/3 = 1,760$ <p>2 特別配当支払い前の株価の算定</p> $1,760 + 10$ $= 1,770 \text{ (配当実施前の株主価値)}$ $1,770 \div 0.08 \text{ 億株} = 22,125 \text{ 円}$	<p>1 特別配当支払い後の 2022 年度期末の株主価値の算定</p> $264 \div 11\%$ $= 2,400 \text{ (2022 年度期末の企業価値)}$ $2,400 \times 2/3 = 1,600$ <p>2 特別配当支払い前の株価の算定</p> $1,600 + 10$ $= 1,610 \text{ (配当実施前の株主価値)}$ $1,610 \div 0.08 \text{ 億株} = 20,125 \text{ 円}$

該当箇所	誤	正
P3/20 第2問 問題2 問4 空欄⑨解答	6.80	12.14
P15/20 第2問 問題2 問4 空欄⑨解説	<p>2 分散の算定</p> <p>各証券間の相関係数がゼロであるため、共分散もゼロとなり、以下のような算式でポートフォリオの分散を求めることができる。</p> $0.3^2 \times (15\% - 12.8\%)^2$ $+ 0.2^2 \times (10\% - 12.8\%)^2$ $+ 0.3^2 \times (35\% - 12.8\%)^2$ $+ 0.2^2 \times (18\% - 12.8\%)^2$ $= 46.1864$ <p>3 標準偏差の算定</p> <p>分散の平方根を算定すると、6.80% (空欄⑨)となる。</p>	<p>2 分散の算定</p> <p>各証券間の相関係数がゼロであるため、共分散もゼロとなり、以下のような算式でポートフォリオの分散を求めることができる。</p> $0.3^2 \times 15^2 + 0.2^2 \times 10^2$ $+ 0.3^2 \times 35^2 + 0.2^2 \times 18^2$ $= 147.46$ <p>3 標準偏差の算定</p> <p>分散の平方根を算定すると、12.14% (空欄⑨)となる。</p>